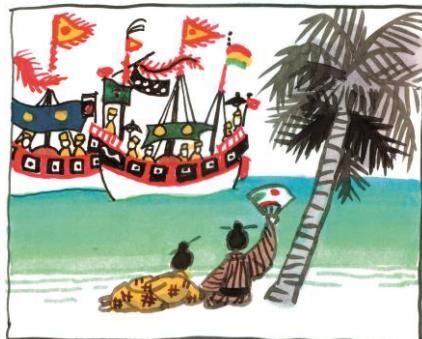


ニューヨーク国際映画祭グランプリをはじめ、数々の国際賞を受賞してきたアニメーション作家、木下蓮三・木下小夜子ご夫妻の短編アニメーションの中から、3点をご紹介します。それぞれは、平和の大切さを訴えた作品です。

会員の皆さん地域での集まりや活動で、映画上映というときの参考にしていただきたいと思い、ご紹介いたします。

短編アニメーション映画『琉球王国 - MADE IN OKINAWA』(2004年、18分)

沖縄の歴史と心を描いたドキュメンタリーアニメーション作品。アニメーションが本来持つ豊かな表現力によって、言葉の壁を越えて世界の人々に沖縄を理解してもらいたいという願いが込められた作品です。



©STUDIO LOTUS

短編アニメーション映画『ピカドン』(1978年、9分)



作者が核兵器への怒りと平和への祈りをこめて自主製作した初の原爆アニメーション映画。
セリフのない10分の物語の中で原爆の実相を伝えています。

©STUDIO LOTUS

短編アニメーション映画『最後の空襲くまがや』(1993年、29分)

終戦前夜に受けた熊谷市の惨劇を、当時の記録、
体験者の話や手記を忠実に参照して描かれた
アニメーション。
埼玉県の依頼を受けて制作されました。



©STUDIO LOTUS

【利用方法】 1作品貸出料は5000円（3作品セットの場合はご相談ください）

- ①DVDの貸出申し込み：「(株)スタジオ・ロータス」03-3585-0696
- ②(株)スタジオ・ロータスよりDVDが送られてくる
- ③DVDを(株)スタジオ・ロータスへ返却する（送料負担）

ご不明の点などありましたら、シニア・ネットのメールアドレス
shinianet@shinia.net 担当片岡までお問い合わせください